

体育科学習指導案

指導者 熊野町立熊野第四小学校
教諭 ○○ ○○

- 1 日時 令和4年3月4日(金) 第3校時 熊野第四小学校体育館
- 2 学年 第1学年○組
- 3 単元名 「めざせ! マット名人」
B 器械運動 マットを使った運動遊び

4 単元について

(1) 単元観

本単元は、小学校学習指導要領(平成29年告示)解説体育編第1・2学年「B 器械・器具を使った運動遊び」「マットを使った運動遊び」を受けて設定した。マットを使った運動遊びでは、いろいろな方向への転がり、手で支えての体の保持や回転すること(知識や技能)や、遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えること(思考力、判断力、表現力等)、運動遊びに進んで取り組み、順番やきまりを守り誰とでも仲良く運動したり、場や器械・器具の安全に気を付けたりする力(学びに向かう力、人間性等)を育成することをねらっている。

(2) 教材観

本単元は、マットを使った運動遊びを通して、児童が支持や逆さ姿勢、回転など、日常の動きとは異なったいろいろな動きを体験できる運動である。楽しく運動するという観点から2つの楽しみ方を用意する。

1つ目は、基本的な動きを習得する場面で、いろいろな動物の名前を付けて児童に親しみやすいようにする。2つ目は、基本的な動きを自ら試したり、工夫したりできるように、条件を変えた場を複数設けて楽しんで運動できるようにする。

単元の最後には、「マットゆうえんち」を使って、できるようになったことをみんなに見せ合う場を設定し、単元の見通しを持って意欲的に運動できるようにしたい。

(3) 児童観

児童の実態についてアンケートをもとに記載しています。

(4) 指導観(ゴシック網掛けは共生の視点・ゴシック下線は関わり合いの視点)

指導にあたっては、支持(ブリッジ・背支持倒立)、逆立ち姿勢(かえるの足打ち・川とび・かべ登り倒立)、回転(ゆりかご・丸太転がり・だるま転がり)運動に分けてドリル運動を行い、基本的な動きをしっかりと習得することで、達成感を味わわせたい。マット運動に苦手意識をもっている児童への手立てとして、器械・器具の高さを変えたり、痛くないように配慮した場を設定したりして、条件を変えた場を設定して選択できるようにしたい。また、手や足を移動する場所や目線の先にマークを置くなど視覚的な支援も積極的に行うことで、技能の習得を計りたい。

グループでの練習の際には、友達と互いに動きを見合い、教え合う活動を取り入れることで、仲間と運動する楽しさも味わわせたい。また、順番やきまりを守って運動をしたり、場や器械・器具の安全に気を付けたりして、仲良く充実した学び合いができるようにしたい。

8 本時の学習展開

(1) 本時の目標

- ・マットに背中を順番に接触させ、後ろ転がりができる。(知識, 技能)

(2) 学習の展開

主な学習活動	◇指導上の留意点 ◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て ◎共生の視点 ■関わり合いの視点	評価(☆) 【評価方法】
1 グループで準備運動をする。 2 ドリル運動をする。 3 本時のめあてを確認する。	◇ドリル運動の仕方を理解し、楽しく取り組むことができるようにする。 ◆転がることが苦手な児童には、あごを引き、膝を引き寄せるよう助言する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ゆりかご ・まるた転がり ・だるまころがり </div>	
からだをまるめてうしろころがりができる。		
4 前時の「まえころがり」を想起する。 5 「うしろころがり」に挑戦する。 6 「うしろころがり」の改善点を話し合う。 7 自分の課題に合った場で「うしろころがり」に挑戦する。 8 グループで「うしろころがり」に再度挑戦する。 9 振り返りをする。	◇手・頭のつきかた、目線、背中丸め方をもう一度意識させる。 ◇体を丸くして、マットに体を付ける順番(お尻→腰→背中→後頭部)を伝える。 ◇後ろ回りの映像を見て、ポイントを確認する。 ◇前回り共通する点、違う点を意識させる。 ◇後ろ回りをやってみて、うまくいったことや難しかったところを発表させる。 ◇マットに傾斜をつけると回りやすいことを伝える。 ◇ゆりかごで勢いをつけると回りやすいことを伝える。 ◆ロイター板をマットの下に入れ、回転しやすい場を設ける。 ◆後ろ回りの最初に、ゆりかごで勢いをつける場を設ける。 ■友達の回り方を見てアドバイスするよう声をかける。 ◇自分ができるようになったことを確認する場を作る。 ◎友達と協力しながら活動できたかという視点で振り返りする。 ◇友達のアドバイスを聞いてできるようになったことを発表させる。	☆マットに背中を順番に接触させ、後ろに転がる ことができる。 (知識・技能) 【行動観察】